

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団
評議員会議事録

1. 開催日時：令和8年2月2日（月）午前11時00分
2. 開催場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室1
3. 出席者：（1）評議員総数 3名
出席評議員 3名
大橋 卓生（議長、Web 出席）、三屋 裕子、矢嶋 雅子

（2）理事総数 10名
出席理事 2名
会長 尾縣 貢
事務総長 武市 敬

（3）監事総数 2名
出席監事 1名
渡邊 剛（Web 出席）

4. 議 事

（1）決議事項

第1号議案 東京2025世界陸上レガシー事業の実施（日本陸連への資金の拠出）について

（2）報告事項

- ・東京2025世界陸上 大会収支の見通しについて
- ・東京2025世界陸上競技選手権大会 大会報告書について

5. 評議員会の議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり本評議員会は定款第20条の規定に定める定足数の出席があった。議事の審議に先立ち、令和5年7月の評議員会の際に、議長を順番に持ち回ることについて、各評議員の確認・了解を得ていたため、大橋評議員が議長に就任し開会を宣した。その後、下記議事の審議に入った。

なお、本評議員会はWeb会議システムを併用して開催しており、Web会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時適確な意見表明が互いにできる状態となっていることを開会前に確認している。

(1) 第1号議案 東京2025世界陸上レガシー事業の実施(日本陸連への資金の拠出)について

議長は、第1号議案を上程し、事務局から資料1に基づき説明がなされた。大橋評議員より「令和11年までのレガシー事業の実効性はどのように確保するのか」との質問がなされ、事務局から「日本陸連との協定において、事業の実施計画及び各年度における実施結果を日本陸連のウェブサイト公表することで、社会的な監視を受ける仕組みを整えている」と回答した。議案の賛否を諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

(2) 報告事項 東京2025世界陸上 大会収支の見通しについて

東京2025世界陸上 大会収支の見通しについて、事務局から資料2に基づき報告がなされ、評議員の了承を得た。

(3) 報告事項 東京2025世界陸上競技選手権大会 大会報告書について

東京2025世界陸上競技選手権大会 大会報告書について、事務局から資料3に基づき報告がなされ、評議員の了承を得た。

以上をもって本評議員会における全ての審議及び報告が終了し、Web会議システムを用いた本評議員会は、終始異状なく終了したので、議長は、午前11時30分閉会を宣した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、定款第23条第2項の規定に基づき、出席した議長が以下に記名押印する。

議事録作成者 会長 尾縣 貢

令和8年2月2日

公益財団法人東京2025世界陸上財団